

「田島弥平と

横浜での蚕種貿易」

西川 武臣 氏（横浜開港資料館 館長）

7 月 13 日（土）13:30～15:00

幕末の開港以降、日本の蚕種（蚕の卵）は輸出の重要品目になりました。現在の伊勢崎市境島村の田島弥平は蚕種製造家として会社を設立するなど、蚕種需要の高まりの中で開港地横浜を通して蚕種を輸出します。

田島弥平旧宅は 2014 年に世界遺産となった「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産の一つになっています。この田島弥平の功績について、同家の史料を長年にわたって整理・研究されてきた第一人者である西川先生にご講演いただきます。



西川 武臣 氏

●会 場：群馬県立歴史博物館 視聴覚室

●定 員：140 名

●参 加 費：無料

（企画展を観覧される場合（常設展も含む）：一般 800 円）

●申込方法：6 月 13 日（木）より、事前申込が必要です。

○当館 HP・右 QR コードから入力フォームへアクセス

○電話（027-346-5522（開館日の 9:30～17:00））

※状況により、内容に変更を生じる場合があります。

講演会①入力フォーム



群馬県立歴史博物館

高崎市綿貫町 992-1（群馬の森内）

TEL. 027 (346) 5522



ホームページ

